

平成 27 年度 北小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

6月5日(金)に開催された「北小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)

【当日参加団体一覧】

ご参加ありがとうございました。



団体名		
壱町田2丁目自治会	民生委員・児童委員	日本大学国際関係学部
壱町田1丁目自治会	ぎおんクラブ	子ども会連合会
大宮町1丁目自治会	地域包括支援センター	学校支援地域本部
サンステージ壱町田自治会	保護司会	スポーツ推進委員
芝本町町内会	交通安全母の会	消防団第3分団
東壱町田町内会	北幼稚園	消防団第2分団
シャルマンコーポ町内会	北幼稚園 PTA	防犯サポーター
加茂川町2区自治会	北小学校	地域安全推進員
中央町2区町内会	北小学校 PTA	つつじ子ども会
文教町2丁目自治会	北中学校	
文教町西町内会	北中学校 PTA	

※当日参加者 39 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- シャルマンコーポ町内会：ジュニアレスキュー隊（高校生&中学生参加）の活動紹介。
- サンステージ壱町田自治会：三島駅北口でゴミ拾い活動を推進したい。ぜひご協力ください。
- 学校支援地域本部：花壇ボランティアを随時募集中。お気軽にご連絡ください。

【問題解決の取り組み例】前回トーク後、看板を設置⇒大学生による迷惑バイク駐車に効果大。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 子どもを対象にした防災訓練を企画しよう！	18人
② 大学生を対象にした防災訓練を企画しよう！	3人
③ 大人を対象にした防災訓練を企画しよう！	2人
④ 高齢者を対象にした防災訓練を企画しよう！	4人
⑤ 地域住民同士のきずなを強くする具体的な方法を考えよう！	10人
⑥ その他	1人

※アンケートの結果、テーマ①⑤について話し合いました。(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「子どもを対象にした防災訓練を企画しよう！」

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
地域の防災訓練	訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトル 2L、5L 持つ訓練実施。 ・バケツリレー実施。 ・非常食持ち出し袋に備品を詰めて避難所に集合。非常食のお手伝い作業。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもを中心に親を引き込むことが大切 ・小学生・親・地域の方が一緒に DIG をやるのが、顔合わせや防災意識向上につながる。
	女性・子ども中心	<ul style="list-style-type: none"> ・子連れで避難することで考えられる問題をイメージしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性・子どもを中心とした訓練。 ・乳幼児に配慮した訓練。
	子ども会と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、子ども会のイベントに合わせて防災訓練実施。今年の防災訓練は子ども会と日程を調整中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会と協力して、イベントと訓練を同時に行なう。
地域と幼・小・中学校の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも親も習い事や仕事で忙しく、訓練に参加しない。 <p>●学校と地域の合同訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は子どもの命を守る事が第一であり、地域は訓練そのものが目的となる。相容れないのではないかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼稚園・学校を活用 ・忙しくても保護者は学校・幼稚園の防災訓練には参加する。幼稚園単位の訓練にすれば、子どもも親も参加率が上がるのでは。 ・上の子（大学生・高校生・中学生）が幼稚園児を避難させる。 	
避難所訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所で地域の人と会議実施。 ・地区ごとに集合し、まず一次避難所を知ること、顔を知ることから始めた。細く長く毎年やっていきたい。 		
東海地震を想定した訓練		<ul style="list-style-type: none"> ●住民の意識を変えていく ・震度6強が起きた場合、どう生き残るのが大事。 ・マンションでも被害を想定した訓練が大事。（トイレが使えなくなることや、水が止まることなどを周知していく） 	

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
子どもたちが訓練に参加するには？	子どもたちが興味を持てる訓練	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちは防災意識が低い <ul style="list-style-type: none"> ・中学生は部活で参加しない。 ・子どもは集合場所も知らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが興味を持つ工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・防災クイズ ○×でやる。 ・非常食の試食会をやる。 ・子どもと大人の炊き出しが必要。→コミュニケーションが図れて非常に良い。 ・小学生におにぎりなどを作ってもらおう。 ・実際の被災地の状況を聞く機会を設ける。 ・起震車を利用する。 ●ウォークラリーを活用 <ul style="list-style-type: none"> ・楽寿園でのウォークラリーのテーマを「防災」にする。
	子どもたちの自主性を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアレスキューでは「自分の命は自分で守る」ことが前提。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの活躍の場をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに計画をたててもらおう。 ・小学生高学年・中学生に何か役割を与える。(自主的意識向上のために) ・子どものリーダーをつくる。 ●新組織の発足 <ul style="list-style-type: none"> ・シャルマンコーポのジュニアレスキューを見習い、分団レベルで組織を作る。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇地域の訓練では子どもを中心にするこゝで、親も巻き込んでいこう！
- ◇子どもが興味を持つような訓練を取り入れよう！
- ◇東海地震を想定した具体的な内容を皆で共有し、防災意識を高めていこう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
 各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
 次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

テーマ②

「⑤地域住民同士のきずなを強くする具体的な方法を考えよう！」

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
地域住民同士のきずななどは？		<ul style="list-style-type: none"> ・転入出者が多い。 ・住民同士のきずなどは助け合い。 ・きずなづくりは町内会がベース。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な世代に参加を促す。 ・校区全体の防災訓練を考えよう。
地域の問題	高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のグループ方々の年齢がそのまま高くなっていく。若い人が入らない。 ・高齢者→話し合いの場への参加率少ない。 ・老人会への参加者を増やしたい。 	
	役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員のなり手がいない。 ●自治会活動の参加者が減少している ・町内会総会の参加人数が少ない（10名程度）。以前住んでいた中徳倉は100名位だった。 ・町内の仕事への出席者が限られた人が多い。 ・町内のきずなは大半できているが、一部出来ていない人への対処が必要。（中央町2区） 	
	きずなが弱まっている	<ul style="list-style-type: none"> ・団体で動く場面が近年減少している。 ・町内会の行事の後に、若い人を飲みに誘っても行かない。 ・あいさつや声掛けが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な住民同士のきずなの深め方を考える ・世帯ごとの形態が多様化。 ・多様性。各会との交わり方。マンション、店、高齢者など。
校区運動会	もっと活性化させたい	<ul style="list-style-type: none"> ●校区運動会の参加者が減少している（自治会単位） ・校区振興会の行事に参加しない。 ・各自治会体育委員の活動不活発。 ・自治会体育委員の責任感がない。 ・町内21町だが、参加者が少ない。 ・子ども会の参加者が少ない。 ・町内だけで運動会。 ・いつも参加者が決まっている。 ・北小校区の運動会を盛り上げたい。 	

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
コミュニケーションの場づくり	高齢者と幼稚園の連携	・前回のトークで高齢の男性の方が、「仲間で何か手伝いたい」と発表された。北幼稚園でボランティアを希望されていたので、うまくつなぐ事ができるとよいと思った。	・幼稚園でボランティアを募り、交流を深める。
	コミュニケーションの場	・「趣味の会」「サークル」等を作ったら集まるか？	・気軽に足を運べる“場所”が町内にあればいい。
	子ども同士の交流		・高学年（中高）が低学年の勉強をサポートするのはどうか。
	情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会単位で掲示板を設置し、コミュニケーション力を高める。 ・大人の知恵で大学生を取り入れるのは難しい。大学生の意見も聞くべき。 ・HP・SNSを活用して、大学生の目や耳に届かせる。 ・大学生の力を借りてHPやSNSを活用できたらいい。
	協議会の設立		・地域コミュニティ協議会の発起人会を作ろう。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◎住民の生活が多様化している中、地域のイベントや会などへの参加を促すために、
- ◇幼稚園や学校を活用し、住民とのふれあいの機会を増やそう！
- ◇自治会・町内会で気軽に足を運べる場づくりを考えよう！
- ◇住民同士が知り合いになることから始めて、校区運動会の参加者を増やそう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



